2 お客様・お取引先様

「KOBELCOの3つの約束」の一つである「信頼される技術、製品、サービスの提供」を実践するため、ものづくり力の強化に向けたさまざまな取り組みを通じて、国内外のお客様やお取引先様に信頼される技術・製品・サービスを提供していきます。

ものづくり推進活動

神戸製鋼グループはものづくり力強化に向け、「情報共有」「シナジー発揮」「人材育成」などに取り組んできました。現在は、「品質力の強化」「現場ものづくり力の強化」「省エネ」などの課題にも取り組み、当社グループ全体のものづくり力の強化により、信頼される技術、製品、サービスの提供に努めています。

■ 神戸製鋼グループ内での連携強化

各工場の代表者が参加する「ものづくり推進リーダ会議」を通じて、全社施策に関わる意見交換や優れた事例の情報共有を図るとともに、個別の要素技術に関わる専門技術者同士の交流の場である「生産技術交流会」を通じて、グループ全体での技術レベルの向上を図っています。

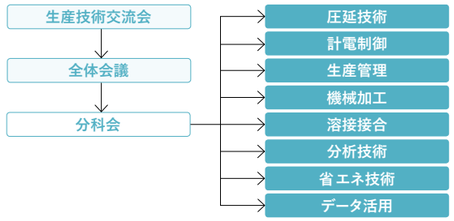
■ ものづくり推進リーダ会議

当社グループのものづくり推進活動の窓口として各工場に「ものづくり推進リーダ」(工場長、副工場長クラス)を設置し、ものづくり推進リーダが集まる「ものづくり推進リーダ会議」を定期的に開催しています。会議では、社内外での先進事例の紹介、実施中の施策の推進状況の共有や新たな施策に関する討議などを行っており、紹介した事例をそれぞれの工場における改善活動の参考にしてもらい、要望があれば紹介事例の工場との交流会なども個別に企画しています。

■ 生産技術交流会

グループ内で共通性の高い技術分野については、同じ技術分野の技術者同士の交流の場として「生産技術交流会」を設けています。本交流会では現在、下表に示す8つの技術分野について分科会を設けて活動を行っています。各分科会には、事業部門や会社の枠を超えてその分野の技術者が参加して、「情報共有」「人材育成」「事業貢献」の3つの課題に取り組んでいます。

生産技術交流会



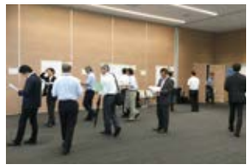
■ 現場ものづくり力強化の取り組み

当社グループでは、現場ものづくり力のベースとなる「5S活動」*1を重要な活動と捉え、ものづくりに携わる全職場を対象にした5S活動の強化を進めています。

また、現場の改善活動(QCサークル活動)も積極的に推進しています。特に、年に1回、「KOBELCO QCサークル大会」を開催し、当社グループ全体に横串を通した情報共有や啓発を図り、活動レベルの底上げを目指しています。

*1 5S活動:5Sとは、整理(Seiri)・整頓(Seiton)・清掃(Seisou)・清潔(Seiketsu)・躾(Shitsuke)の頭文字をとったもの。ものづくりの現場で重視される、職場環境を整備する活動を指します。

グループディスカッション


ディスカッション結果の内覧会

KOBELCO QCサークル大会

5S点検の様子

オープンイノベーションへの取り組み

■ 物質・材料研究機構と鉄鋼3社による オープンイノベーション推進の枠組み構築

国立研究開発法人物質・材料研究機構(以下、NIMS)と新日鐵住金(株)、JFEスチール(株)、(株)神戸製鋼所は2017年6月30日、鉄鋼業界におけるオープンイノベーションを推進するため、NIMSを中核としたオープンプラットフォーム(MOP:Materials Open Platform)の運用に関する覚書に調印しました。

本MOPでは、各社に共通する課題で独自に取り組むことが困難な中長期的な課題について、「水平連携」によるオールジャパンの体制で協働して取り組むことにより、イノベーション創出力を強化し、鉄鋼業界における我が国の将来の国際競争力を支える基盤技術の強化を図るとともに、ここで得られた研究成果を二者間連携へと発展させ、低環境負荷・安全安心社会の構築やインフラ輸出促進の実現に貢献していきます。

調印式の様子

■ 圧縮空気エネルギー貯蔵(CAES)システムの 実証試験

天候により出力が変動する風力発電を電力系統上で安定的に利用するために、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(以下、NEDO)と学校法人早稲田大学、一般財団法人エネルギー総合工学研究所と連携し、発電量の予測情報に基づく制御技術を用いた圧縮空気エネルギー貯蔵(CAES:Compressed Air Energy Storage)システムの実証試験に取り組んでいます。

実証施設の外観

今回のNEDOプロジェクト*2では、早稲田大学がCAESシステムの制御技術の開発、エネルギー総合工学研究所が設備構築を担当しており、当社はエネルギー総合工学研究所より外注を受け、機器の設計や製造を行っています。今後、CAESシステムの制御技術を確立させ、再生可能エネルギーの導入拡大に資することを目指します。

*2 電力系統出力変動対応技術研究開発事業/風力発電予測・制御高度化/蓄エネルギー技術を用いた出力変動制御技術の開発(2014~2018年度)

■ 広島大学との「コベルコ建機夢源力(むげんりょく) 共創研究所」の設置

コベルコ建機(株)と国立大学法人広島大学は、広島大学が新たに設けた「民間企業等外部機関の研究所制度」*3を利用した第一号として、「コベルコ建機夢源力共創研究所」を2018年4月1日に広島大学内に設置しました。

本研究所は、複数の共同研究講座などを統括・マネジメントする機能を持った研究所として、共同研究講座、共同研究、学術指導に関する契約を本研究所のもとに締結することで、今まで以上に高い次元での組織対組織の研究活動を可能とするとともに、産業・学術の両面で高い成果に結び付けていきます。

コベルコ建機と広島大学は2007年より共同研究をスタートし、2016年には広島大学との包括的研究協力に関する協定書を締結するなど、多角的に産学連携を進めてきました。今後も、新たな技術開発や相互の人材育成、地域社会への支援などさまざまな側面で産学連携を行っていく予定です。

*3 民間企業等外部機関とともに、広島大学内に共同研究組織を設置し、「組織」対「組織」連携による高度な相互理解と信頼を前提とした、新たな価値共創型の共同研究および人財育成の推進を図ることにより、社会貢献を推進することを目的とするものです。

テープカットの様子